

# 令和7年第1回定例公安委員会会議録

開催日時 令和7年1月9日(木) 午前11時9分～午後2時20分

開催場所 警察本部

## 第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後2時12分

2 出席者

公安委員会 久本委員 笠田委員

警察本部 野村警察本部長 森本警務部長 宮田首席監察官  
細田生活安全部長 前田刑事部長 山本交通部長  
樋口警備部長 濱本警察学校長 坂口情報通信部長  
吉村警務部参事官

(事務局等～岩城公安委員会補佐室長、総務課員)

3 議題事項

4 報告事項

- 「第22回ふれあいコンサート」の開催(警務部)
- 令和7年度定員・組織改正の概要(警務部)
- 各種大会報告(警務部)
- 初詣等における雑踏警備及び山岳遭難防止対策の実施(生活安全部)
- 大規模災害等の発生を見据えた危機管理能力の向上に向けた機動警察通信隊合同訓練の実施結果(情報通信部)

(1)「第22回ふれあいコンサート」の開催(警務部)

警察本部

ふれあいコンサートは、県民と警察との音のかけ橋として、演奏を通じて警察広報を行うことを目的に、平成12年から年1回の定期演奏会として開催している。今年度は、1月18日土曜日に米子コンベンションセンター多目的ホールで開催する。今回は、平成27年以来の管区内4県が集合しての開催となり、島根、岡山、広島県警が賛助出演し、鳥取を合わせた4隊の合計出演者数は97人となる。

プログラムは、開演後、本部長挨拶に始まり、オープニング曲は全隊による、ゲームドラゴンクエストの序曲、第一部は各隊によるドリル演奏、第二部は全隊による合同演奏、フィナーレと続く。

この度の入場チケットは、初めてインターネットサービスを利用した電子チケットによる発券とした。インターネット環境のない方は、警察署等からチケットを受け取ることも可能である。ホワイエにおいては、各所属によるブースを設けて広報活動を行う予定としている。また、開演前には各所属で作成した広報動画を上映する。

#### 委員

4県警察の音楽隊合同演奏が実施されるとのことであり、合計97人の隊員が出演され、楽器の音の厚みが出て、すばらしい演奏になると思う。これまで、コンサートチケットの発券が警察署等に赴かなければできなかつたところ、オンラインでできるようになり、行きやすいコンサートになった。県民と警察の心の距離が縮まるような、素敵なコンサートにしていきたい。

#### 委員

これまでに、鳥取県警察単独のコンサートを聴講させていただいたことがあるが、4県合同でのコンサートは、もっとすばらしいものになると思う。オンラインや二次元バーコードが主流の時代である。この度、チケット取得についての利便性を向上されたとのことであり、大変すばらしい取組だと思う。

## (2) 令和7年度定員・組織改正の概要（警務部）

### 警察本部

令和7年度の鳥取県警察の定員及び組織改正の概要について報告する。

定員は、知事部局からは、本年度の定員維持を基本とした上で、重点施策への対応に関して優先的な配分を行う旨の組織編制方針が示されており、条例定員の警察官1,231人、警察行政職員220人の合計1,451人と現状維持を確保しつつ、組織のスクラップ・アンド・ビルドを進めるとともに、体制強化すべき部門への重点的な配分を行うこととした。

続いて、組織改正の概要を報告する。

1点目は、優秀な人材を継続的に育成・確保していくための体制強化についてである。将来展望を見据えた継続的な受験者数の確保を図るため、実効性のある対策を計画的に実施するとともに、採用から育成までを一元的に行うことが必要であることから、採用募集活動を所掌する警務部警務課と人材育成を所掌する警務部人材育成課を統合する。統合後は、警務課に附置機関「人材戦略室」を設置し、採用・育成活動に係る司令塔としての立ち位置を明確にして、部門間を越えた組織的な対応を強化するとともに、警察本部各部との調整及び訓練指導等を総括するため、人材育成担当の警務部管理官を新設する。

2点目は、犯罪被害者支援に的確に対応するための体制強化についてである。犯罪被害者支援の体制は、官民一体となる「犯罪被害者総合サポートセンター」を設置しているところ、県警察内の各部門・他機関との折衝や連携の強化など、この種事案全般に関する事務を掌理して関係職員を指揮監督する県警察内の司令塔として、警務部に所属長である被害者支援官を新設する。

3点目は、庶務業務の合理化・効率化のための体制変更についてである。会計課庶務集中室においては、各係で警察本部内各部の庶務関係業務を集中的に処理し、管理職による統括的な業務管理が求められるところ、更なる会計業務の適正管理のため、現在、物品契約官事務取扱の庶務集中室長ポストに警察行政職員を配置する。それに併せて、庶務集中室の業務の合理化・効率化を図るため、総務担当の警務部管理官と物品調達・契約担当の警務部管理官を廃止する。

4点目は、特殊詐欺をはじめとした重要知能犯罪対策の体制強化についてである。急増しているSNS型投資・ロマンス詐欺など、匿名・流動型犯罪グループが敢行する犯罪は様々な罪種、業態に及んでおり、その対策は県警察の総力を挙げて取り組むべき課題であることから、捜査第二課に附置機関である「匿名・流動型犯罪グループ対策室」を新設するとともに、同室匿名・流動型犯罪グループ捜査係及び特殊詐欺連合捜査係に生活安全企画課生活安全特別捜査隊6人、外事課特別捜査係4人を兼務配置し、更に、特殊詐欺連合捜査係を3人増員し、体制強化を図る。警察署においては、鳥取・米子警察署の刑事第二課に特殊詐欺事案に対応する捜査第三係を新設し、捜査第一課機動捜査隊が捜査第二課特殊詐欺連合捜査係を兼務することで、体制の強化を図る。また、刑事部管理官ポストは、業務の見直しにより、令和4年度に新設した警視ポストである組織犯罪特別捜査隊長がその役割を担うことが可能であるため、同管理官の職を廃止する。更に、捜査第二課次席ポストについては、業務が多岐に渡り、専門的な知識が必要となること等を理由とし、次席ポストの階級を警視に格上げする。

5点目は、合理的・効率的な交通事故抑止対策の推進に向けた交通部の再編についてである。交通事故分析に基づいたハード・ソフト両面の対策を合理的・効率的に推進し、悲惨な交通事故を抑止するため、交通規制課と交通企画課を統合する。専門的な知識が必要な交通規制業務を推進するため、交通企画課に附置機関である「交通規制室」を新設するとともに、交通規制業務全般に関する事務を掌理して関係職員を指揮監督するため、交通部に所属長ポストの交通規制官を新設する。また、交通企画課の附置機関「交通事故抑止対策室」は、交通事故分析

を的確に行うとともに、分析結果に基づいた効果的な交通事故抑止対策を推進するために設置された機関であるが、交通事故件数は減少傾向にあり、一定の成果が見られたことから、同室を廃止する。

その他として、検視官室を日勤制から東部・西部の2個班体制の三交代制勤務に変更、警備第二課に警衛警備対策室の設置、警備第二課警衛・警護係の体制強化、外事課の体制強化、情報管理課照会センターを刑事企画課に移管等の組織改正を行うこととしている。

最後に、会計年度任用職員等の配置について、知事部局に対して、個々の会計年度任用職員及び特別職非常勤職員の重要性や必要性を粘り強く要求した結果、本年度と同数の102人を確保した。

#### 委員

定員に関して、人口が減少する中での増員は難しく、現状維持が精一杯なのかもしれないが、県警察の業務が増えていることは明らかであり、その中で、課題や問題点に対する組織改正を組み込んでいただいた。人材の確保・育成に関しては、人材戦略室に統合されるとのことであり、是非、優秀な人材を確保し、育成していただきたい。犯罪被害者支援について、昨年度、犯罪被害者総合サポートセンターが設置されたところ、更に体制を強化されるとのことであり、力強く進めていただいております。特殊詐欺に関しては、最も県民が不安に思っている課題の一つであり、体制を強化して取り組んでいただければとのことであるので、よろしく願います。交通関係についても、交通規制室を設けて対応されるとのことである。事故件数が減少するように尽力いただきたい。

#### 委員

人口が減少しており、この先も定員が現状維持できるかどうか分からない。警察業務が多岐に渡り、業務が増える中で、先々を見据えて、円滑に業務継続できるようにしていただきたい。春から新体制となるに当たっては、引継ぎを上手く行い、連携がしっかりと図られるよう、お願いしたい。

### (3) 各種大会報告（警務部）

#### 警察本部

職員が出場した大会の結果と近く出場を予定している大会について報告する。

まず、大会結果についてであるが、12月6日、鳥取県警察学校射撃場において令和6年度鳥取県警察拳銃射撃競技大会が開催された。団体競技A組は倉吉警察署が優勝し、団体競技B組は智頭警察署が優勝した。

令和7年1月24日、鳥取市武道館において令和6年度鳥取県警察柔道・剣道大会を開催する。警察本部、警察学校及び各警察署代表選手による団体戦と、女

子個人戦を行う。

#### 委員

県内の拳銃射撃大会が行われ、優秀な成績を収められたと報告いただいた。鳥取県警察には、拳銃射撃競技の第一人者となる職員もおられることから、指導を受けながら切磋琢磨し、県外の大会でも上位を狙っていただきたい。

毎年、剣道の全国大会をテレビで視聴しているが、剣道は警察官が強い。報告していただいた術科大会に出席する予定であるので楽しみにしている。

#### 委員

昨年、拳銃大会に出席させていただいた。女性警察官の参加が多くあったと感じており、職員の技術向上につながることから、今後も県警察を挙げて取り組んでいただきたい。

柔道・剣道大会についても、開催結果を楽しみにしているので、是非健闘していただきたい。

### (4) 初詣等における雑踏警備及び山岳遭難防止対策の実施（生活安全部）

#### 警察本部

まず始めに、初詣等の雑踏警備の実施状況についてであるが、初詣の人出は前年比で減少しており、理由としては、前年の三が日に比べ、天候が良くなかったこと、休みが長かったことにより、初詣客が分散されたこと等が考えられる。また、行楽地である水木しげるロードの観光客が増加したのは、昨年4月に水木しげる記念館がリニューアルしたこと、昨年の秋口に鬼太郎の新しい映画が公開されたことが影響していると考えられる。雑踏警備に当たっては、管理者等による自主警備の強化、案内板の設置、分散参拝の呼び掛けなどに関する事前の申し入れや警備計画を策定するなど、事前の準備の効果もあり、特段の混乱もなく、事故もなく終了した。

次に、山岳遭難防止対策の実施についてであるが、年末年始に山岳遭難の発生はなかった。大山においては、例年、鳥取県山岳スポーツクライミング協会の方と合同で冬山パトロールを行っており、本年度も12月28日に、琴浦大山警察署大山寺駐在所において出発式を行った。その後、登山届の提出や万全の装備品の準備、天候等に注意するといった山岳遭難防止を呼び掛ける広報活動を実施した。冬山パトロールは、今後、3月20日までの間の土日・祝日に実施することとしており、山岳遭難の未然防止、有事の際の事案対応に従事する。

#### 委員

年末年始は、初詣や山岳による大きな事故がなく、安心した。大山は、標高の割に難易度の高い山であり、登山届の提出の有無で、遭難時の初期対応が違って

くと思う。今後も登山届の提出についての広報は継続していただくようお願いする。

大山冬山パトロールについて、天候が厳しい中しっかりしていただいております、大変有り難い。県外からの登山者も多く、観光面では大事な山である。パトロールをしっかりしていただいていることが、観光客からの人気にもつながると思うので、今後もよろしく願います。

#### 委員

初詣の参拝者が減少したとのことであり、様々な理由があると思うが、世の中の初詣に対する考え方が変わってきているのかもしれないと思った。いずれにしても、問題等が発生せずに平穏に過ごすことができたのは、警察活動の成果が現れたものであり、感謝している。

山岳遭難に関して、新聞を読んでいると、遭難された方が登山届を出していなかったという案件が多いと感じる。今後も、山岳協会の方と連携しながら広報していただきたい。

今後、平地でも積雪が予想されているところであるが、継続して大山冬山パトロールをお願いしたい。

#### (5) 大規模災害等の発生を見据えた危機管理能力の向上に向けた機動警察通信隊合同訓練の実施結果（情報通信部）

#### 警察本部

能登半島地震やその後の豪雨災害による被害の教訓を受け、この度の合同訓練では、鳥取県内で大規模な地震が発生したことを想定し、中国四国管区警察局の本局、本局内の各県機動警察通信隊による実働訓練を実施することや各種情報通信対策に必要な教養等を行うことにより、更なる対処能力の向上及び連携強化を図ることを目的として訓練を実施した。

訓練は、12月3日と4日の2日間に渡って実施し、訓練想定は、鳥取県内で大規模な地震が発生し、県内の無線中継所に設置されたヘリコプターテレビ用固定形自動追尾受信設備が運用不能となり、また、無線中継所は、停電に伴う非常用発電機の運用が継続状態になったという状況下において、鳥取県は管区警察局に対し、機動警察通信隊の応援を要請し、要請を受けた管区警察局は、非常用電源車を出動させるとともに、管区内4県から機動警察通信隊員と応急通信対策車を含む車両による出動を命じたものとして、境港警察署において応急通信対策車を使用したヘリテレ可搬装置の運用訓練及び無線中継所において非常電源車を使用した電源救済訓練を実施した。

訓練2日目については、臨時中継機を立ち上げ、応急通信対策車の車載衛星設備と他管区の固定衛星設備によって伝送路を構築し、鳥取県の無線通話を拡張設定する教養を実施した。



いずれの訓練においても、各県機動警察通信隊との連携を取りつつ、良好に行うことができたことを確認している。訓練参加者からは、「実戦的な訓練を行いながら、管区担当者から具体的な教養を受けることができ、勉強になった。」「無線中継所、境港警察署それぞれのヘリテレ映像受信エリアを確認できたことから、今後の通信対策に活用したい。」「非常用電源車による電源供給では、延長ケーブル等の資機材を使用し、実際に運用できることが確認できたことから、少なくとも1回は実際に接続し、確認する必要がある。」との感想があった。

情報通信部では、今後も引き続き、様々な状況を想定し、突発的な事案が発生した場合においても、出動事案現場に的確に対応していくための対処能力の向上に努めていきたいと考えている。

#### 委員

石川県能登地域の地震及び豪雨を教訓とした訓練とのことであり、災害時は無線・通信関係の確保は必須であり、この環境がなければ事案対処が難しくなってくる。南海トラフ地震発生の可能性も高まっている中で、通信手段の確保についての訓練が行えたのは、大変有意義であったと思う。引き続き、訓練を重ねていていただきたい。

#### 委員

今年は災害等がないことを祈っているが、島根原子力発電所の再稼働が迫っており、万が一のことも考えておかなければならない状況だと思う。是非、定期的に訓練を実施していただくとともに、併せて設備の点検も行っていただくことが重要だと思う。

## 第2 その他の公安委員会活動

### 1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取6件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

### 2 聴聞

### 3 事前説明

令和7年度定員・組織改正の概要

### 4 報告事項

5 決裁

審査請求の受理について

6 公安委員会委員間の事前検討・協議等

7 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。